

(様式2) 社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金) 事後評価書(中間評価書)

平成30年8月31日

計画の名称	1 「水と緑と花のながい」における循環のみちづくり																								
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)					交付対象	長井市																		
計画の目標																									
快適で美しい環境を創造するために、持続的な污水处理システムを構築する。																									
計画の成果目標(定量的指標)																									
①長井処理区で持続可能な「生活排水処理施設整備基本構想」(H27)を策定する。																									
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値					備考											
①長井処理区で持続可能な「生活排水処理施設整備基本構想」策定状況 策定済み数(箇所)/策定すべき数(箇所)									当初現況値 (H27当初)		中間目標値 (H28末)		最終目標値 (H29末)												
									0%		100%		100%												
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		47百万円		A		47百万円		B		0百万円		C		0百万円		D		0百万円		効果事業費の割合 C/(A+B+C+D)		0.0%	
事後評価(中間評価)																									
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																									
事後評価(中間評価)の実施体制														事後評価(中間評価)の実施時期											
関係部門及び担当課で、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて 今後の事業計画を検討することとした。														平成30年度											
														公表の方法											
														市のホームページに掲載											
1. 交付対象事業の進捗状況																									
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考								
A07-001	下水道	一般	長井市	直接	—	汚水	全種	長井市生活排水処理施設整備基本構想策定(水質保全)	基本構想策定	長井市	H27	H28	H29			6.0									
A07-002	下水道	一般	長井市	直接	—	汚水	新設	長井処理区幹線系枝線(未普及解消)	L=2.4km A=15ha	長井市						33.0									
A07-003	下水道	一般	長井市	直接	—	汚水	全種	基本的な計画の見直し	調査検討業務	長井市						8.0									
合計																47.0									
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考									
										H27	H28	H29													
合計																0.0									
C 効果促進事業(該当なし)																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考									
										H27	H28	H29				0.0									
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考									
										H27	H28	H29													
合計																0.0									

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・生活排水処理施設整備基本構想を策定したことによって、将来にわたり市内全域の生活排水処理施設の計画的、効率的な事業推進が図られる。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（生活排水処理施設整備基本構想策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・下水道未整備区域（小出地区・五十川地区）の実施設計を前もって行ったことで、年度内の工事の早期発注、早期完成が図られる。 ・下水道事業計画の変更見直しに伴い、事業計画期間の延伸と、計画フレーム・計画汚水量について上位計画の最上川流域別下水道整備総合計画との整合を図った。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・事業計画区域の整備がほぼ完了し、今後は水洗化率の向上を図ることにより自然環境の保全、生活環境の改善に努める。 ・事業計画区域の整備がほぼ完了し、今後は下水道ストックマネジメント計画をもとに、処理場及び管渠の改築更新の整備を推進する。 ・今後は未整備区域（小出地区、五十川地区）の未普及解消を図るべく整備を推進する。					